

きくち文昭の
活動記録



独立行政法人土木研究所寒地における道路保全・河川砂防技術についての調査を行う



県営飯塚住宅で県産材の利用状況を視察する



北海道立総合研究機構建築研究本部で建築関連産業の技術支援の状況を視察



東北中央自動車道栗子トンネル工事の進捗状況の視察



天童市の山形浄化センターの概要とガス発電の説明を受ける



天童市芳賀土地区画整理事業の概要の説明と現地調査をする



村山市太陽光発電設置場所で概要の説明を受ける



米沢市の建設業者の新分野進出でめし栽培の状況の視察を行う



米沢市笹野浄水場の概要説明と場内小水力発電の設備を視察する



米沢南陽白鷹線の土砂災害の状況と復旧計画の説明を受ける



国道347号の通常通行に向けた宮城県側の進捗状況の説明を受ける

平成25年9月 No.6

きくち文昭 県議会レポート

山形県議会
11月19日

発行・編集 山形県議会議員 菊池文昭 〒990-0065 山形市双月町 250-3
TEL 023-641-7060 FAX 023-641-7067 E-mail f-kikuchi@mqc.biglobe.ne.jp

安全な県土づくりと、防災・減災対策を推進！

7月18日からの県内を襲った集中豪雨は、土砂災害に対する警戒や河川氾濫警報と、更に経験したことの無い長期にわたる断水など多くの被害をもたらしました。全国的にも短時間で集中的な豪雨災害が起こりました。被害に遭われました皆様にお見舞いを申し上げます。とともに、一日も早い復旧について、今後とも取り組んでまいります。

この度の災害で人命に関わる被害が発生。建物被害は450棟を越え、道路の路面冠水や土砂崩落は320箇所、県管理の河川では護岸決壊は250箇所。かけ崩れや土砂流出は43箇所。水稲・野菜・果樹等での被害は70億円を越える状況であり、東日本大震災以降想定外という表現は使わないようにしていますが、経験したことの無い状況であります。

とりわけ村山地域での長期断水は「水はあるけど水が無い」状況となり、水確保へのリスク回避と分散が必要であります。

今回の経験を生かし災害に強い県土整備とともに防災・減災のための尚一層の取り組みを加速してまいります。

山形県議会議員 きくち文昭

知ッとお情報 1

山形県教育センターでは不登校・いじめ・進路等々についての相談を受け付けております。

教育相談ダイヤル **023-654-8181**

月～金(平日)は8時30分～20時30分まで
土・祝日は8時30分～17時30分まで

いじめ相談ダイヤル **023-654-8383**

24時間受付しております

保護者のみなさん お気軽にご相談ください

知ッとお情報 2

夜間(19時～22時)の急病の相談は…

小児救急電話相談窓口

県内のプッシュ回線および携帯電話からは

#8000

ダイヤル回線・PHSからは

023-633-0299

◎相談時間：午後7時から午後10時まで(3時間)
◎対象者：県内に居住又は在住する15歳未満の子ども及びその家族 ◎主な相談内容：子どもの発熱、嘔吐、下痢などの急な病気についての相談 等

大人の救急電話相談窓口

県内のプッシュ回線および携帯電話からは

#8500

ダイヤル回線・PHSからは

023-633-0799

◎相談時間：午後7時から午後10時まで(3時間)
◎対象者：県内に居住又は在住する大人及びその家族 ◎主な相談内容：発熱、頭痛、腹痛、めまい、吐き気などの急な病気についての相談 等

知ッとお情報 3

「振り込め詐欺」、「押し買い」に注意！

全国的に、振り込め詐欺事件や、自宅に不意に押しかけ、強引な交渉で貴金属などを相場より安く買い取られる「押し買い」が多発しています。

相談窓口は

★山形県警察本部 広報相談課 警察安全相談室

#9110または
023-642-9110

★山形警察署
023-627-0110

★各交番・駐在所

★山形県消費生活センター
023-624-0999

月～金(平日) 9時～17時まで

★消費者ホットライン(全国統一番号)

0570-064-370

土日祝日は国民生活センターにつながります。相談受付時間は、10時～16時まで

知ッとお情報 4

きくち文昭の県議会での 役職は次のとおりです

- 建設常任委員会委員
- 中小企業振興対策特別委員会委員

県政についてご意見・ご質問等がございましたらお気軽にお寄せください

● TEL.023-641-7060
FAX.023-641-7067

● E-mail : f-kikuchi@mqc.biglobe.ne.jp

● 自宅 : 〒990-0065 山形市双月町 250-3

● 県議会 : 〒990-0023 山形市松波2-8-1 県議会北棟4階
TEL.023-630-3211(代) 内線8404
FAX.023-630-2833

体験利用ができます！

● 毎月1日、15日 0時～24時
● 正月三が日(1日0時～3日24時)
● 防災週間(8月30日9時～9月5日17時)
● 防災とボランティア週間(1月15日9時～1月21日17時)



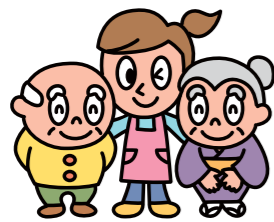
7月18日の集中豪雨災害を受けた南陽市吉野川の状況を若松兼雄参議院議員とともに地域住民の声を聞き調査を行う

一般質問から

支え合う社会づくりの実現に向け、地域福祉を一層推進すべき！

菊池：少子高齢・人口減少社会での、支え合う社会づくりに、県はどのようなかかわりと取り組みをすべきと考えているのか。

健康福祉部長：本年3月「第3期山形県地域福祉推進計画」を決め、「地域福祉サービスの基盤づくり」、「県民が安心して暮らせる基盤づくり」、「地域福祉を担う人材の育成」を基本とし、支え合う社会づくりの実現に向けた取り組みを進めています。市町村はきめ細かいサービスの提供、県は市町村の取り組みを支援し、広く専門的な観点で実施。民間では県民や事業者が自ら活動に参加し、公的サービスでは対応の難しい要望に対応していくこととしています。



適切に公文書管理を進める工夫を！

菊池：歴史的資料として価値を有する公文書の管理のあり方を本県ではどう考えているのか。

総務部長：本県ではまだ公文書館を設置できていませんが、重要性を踏まえ、歴史資料館として重要な公文書の収集・保存と活用を行う必要があると考えています。県民の利用も考えると、適切に保存し、閲覧するための施設や設備などの準備が必要です。現在、公文書の活用を具体化していくための検討を進めており、現存する施設の有効活用も視野にいれ経費削減に努めながら公文書の収集・保存・活用の仕組みづくりを進めてまいります。

大規模災害に備え、迅速で正確な情報を提供できるシステム作りを！

菊池：今後の大規模災害時における通信手段と情報収集策どう考えていくのか。

危機管理監：東日本大震災のような大規模災害を想定すると、災害に強い無線通信網を利用することが大切であると考えています。本県では現在、設備の老朽化から県防災行政無線網の再整備を検討していますが、今後それと共に、公共情報コモンスの活用も含め、大規模災害時に、より効率的・効果的に情報収集・伝達ができるよう十分検討してまいります。



7月の集中豪雨で山辺町畑谷地区の土砂災害現場にて

「おもてなしの心」で交流人口の拡大を！

菊池：本年度制定予定の観光基本条例は、どのような視点で作られようとしているのか。

商工労働観光部長：県民が自然、歴史、文化、景観、食、温泉などの山形の良さを認識・再確認することによって、郷土愛を育み、自身と誇りを持って山形の魅力を発信する。そして訪れた方を「おもてなし」の心で温かくお迎えすること、県や事業者、県民、総参加による「住んでよし、訪れてよし」の地域づくりを進めていくことを基本的な視点として考えています。今年度中に条例案を提案し、「観光立県山形」の実現を目指してまいります。



広域的な観光の取組で経済効果を図れ！

菊池：海外誘客における広域観光についての取り組みはどうか。

商工労働観光部長：東北6県や新潟県などと連携し積極的に取り組んできましたが、震災後は風評被害により外国人観光客数が落ち込んでおります。風評被害を払うべく、Facebook等を活用した情報発信や、学識者による安全メッセージの発信などを強化していきます。

また、海外からの観光客が多い北海道などと連携も行い、さらに、観光客の回復・拡大のため新たな市場の開拓も必要と考えますので、タイ・シンガポールなどのアセアン諸国から誘客を拡大するため、各国の旅行博覧会において、映画「おしん」の情報提供を行う等、積極的なPRに努めてまいります。



「日本さくらんぼ祭り」会場にて



農地の集約と農業の担い手を確保し、6次産業を推進せよ！

菊池：今後農業の担い手確保を進めながら、本県農地集約の方向性をどうしていくのか。

農林水産部長：平成24年度から、農業の「担い手の確保」や「農地の集約」などを入れた「人・農地プラン」の作成を始め、現在、予定の約7割の514地域で作成されており、今後計画的な農地集約が期待されます。国では、新たに農地集約の中間受け皿となる「農地中間管理機構(仮称)」を各都道府県に設置する予定なので、今後こうした機構の対応性を十分に検討し、担い手の育成・確保と、地域の実情にあった農地集約を加速化してまいります。

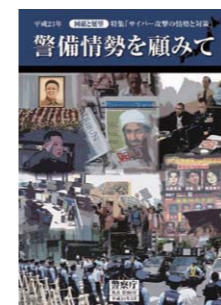


最高レベルのサイバー犯罪対策を！

菊池：本県でのサイバー犯罪対策への考え方と、民間の知識を活用し、今現在、最高レベルでの備えが出来ているのか。また、サイバー空間における県民の安全確保の取り組み状況はどうか。

警察本部長：警察本部のサイバー犯罪対策室が中心となり、警察庁東北管区警察局山形県情報通信部に協力を求めながら、捜査に当たっています。

専門捜査員の能力向上と全警察官の能力底上げが課題であり、専門捜査員は、部内研修、民間事業者による研修を受講させ、全警察官は、部内サイバー犯罪捜査検定の受験を義務付けており、効果をあげております。サイバー犯罪に最高レベルの備えを県警単独で行うのは難しい面もありますが、警察庁や民間事業者に協力を求めながら、必要な体制確保、職員の能力向上、装備資器材の整備を図り、適切に対処してまいります。



警察庁 HP より



お知らせ 「熱中症」にご注意を！



今年も6月～9月まで「夏の省エネ県民運動」を行っております。夏の電気使用量のピークは14時から15時ごろです。ピーク時間にできるだけ使用を控える「ピークカット」、使用時間をずらす「ピークシフト」にご協力をお願いします。

※昨年県内では、熱中症とみられる救急搬送は420名を超えました。暑さを避け、こまめな水分・塩分補給を心がけ、熱中症など健康に十分気を付けて、無理のない範囲での省エネ節電をしましょう。



建設常任委員会から

国道13号大野目交差点渋滞解消と歩行者の安全確保を！



渋滞解消が待たれる 県道山形・山寺線

菊池：国道13号線大野目交差点が300m南に移動した。渋滞がひどい交差点であったが、改良の効果の見込みはどうか。

道路整備課長：大野目交差点については平成16年度から国土交通省山形河川国道事務所が事業を進めており、立体化する計画である。県道山形山寺線の穂積工区バイパス整備が完了し、まずは、交差点を移動した。国道事務所によれば、あこや交差点から県立中央病院までの区間が5分程度短縮となり、交通事故減少の効果が見込まれています。

菊池：現在は歩道が未整備で横断しにくいようだが、改良した点はあるか。

道路整備課長：交差点の移設当初は自動車の交通について混乱したようですが、その後、落ち着いており、国道事務所に確認したところ、特に措置は行っておりません。同事務所では当初からホームページなどで広く情報を公開しながら事業を進めており、苦情等は寄せられていないようであるが、今後何らかの対応が必要になれば、検討されるものと思われる。

菊池：鈴川小学校への通学路になっている児童・生徒の安全確保の上から、相談があった際は、よく話を聴いていただきたい。

道路整備課長：新しい交差点を通るように学校にもお知らせしている。最終的には歩行者用の横断地下道が作られる計画になっています。



国道13号大野目交差点立体化の工事状況